

都心部の交通混雑の緩和や公共交通の利用促進といった課題を解決に導くため、理想的な交通ネットワークの確立を目指します。また、都心部への自動車交通の流入抑制などを盛り込んだ「都心交通ビジョン」にはさまざまな意見が寄せられており、引き続き検討を行います。

## 総合交通対策の推進

NEWS  
ニュース



## こんぼ 事業も

### 交通日記実験

利用した交通手段を一定期間記録してもらい、その分析結果から環境などに配慮した交通手段の選択を考えてもらう実験です。小学生とその家族約300人を対象に実施します。

### バス走行の改善に向けた検討を実施

走行環境の悪い箇所についての実態調査を基に、バスレーンの設置や交差点改良など走行環境の改善に向けて、関係機関や事業者との協議を進めます。

### 都心駐車場基本計画を作成

歩行者や環境を重視する都心交通ビジョンの理念を踏まえ、都心部における駐車場の在り方や、通勤以外の目的にも対応したパークアンドライド駐車場の設置について検討します。

このほか、観光バスの路上駐車による交通混雑を緩和するため、都心部に専用駐車場を設ける実験も行います。

### 都心部交通実験プロジェクトを実施

昨年9月から行っている「都心100円バス」実験。通年化の可能性を探るため、6月まで期間を延長して実施します。

### 低床バス導入費の補助

乗降口の段差が一段のみで、スロープの付いた、「ワンステップバス」を購入するバス事業者に、購入費用の一部を補助します。

だれもが利用しやすい公共交通網の整備を目指し、九月の休日に、運賃についての社会実験を行います。まず、地下鉄休日割引実験では、地下鉄専用一日乗車券を通常より三百円安い五百円で販売します。公共交通の利用が少ない休日に運賃を下げ

た場合の効果も調べます。また、同じ日には、市電を百円で乗れるようにします。市電については、札幌市総合交通調査審議会の答申でループ（環状）化や延伸を含めた検討を行うべきとされました。その一方、施設の老朽化や利用者の減少で、一層経営が厳しくなることが予想されています。そのため、採算性や活用による効果などを調査するとともに、フォーラムなどを通じて、市民の皆さんからもご意見をいただきながら、活用について検討を進めます。

また、関係者との協議の場を設置し、事業を段階的に実施する手順などを定めた計画を来年度中にまとめます。札幌駅と大通駅を結ぶ札幌駅前通地下歩行空間については、これまで開催してきたワークショップの内容などを紹介するパネル展を行い（35ページ参



## 低運賃導入の実験や市電活用に関する調査を実施します



活用方策の本格的な検討に入る市電

た場合の効果も調べます。また、同じ日には、市電を百円



## 都心交通に関する議論を続け 段階的な事業の実施へ

市では昨年、二十年後の都心交通の姿を描いた「都心交通ビジョン」を提案しました。このビジョンに寄せられている市民の皆さんの意見は今後の施策に反映することとしており、この一環として昨年九月に設置した懇談会を継続します。

照く、この内容に対して意見を募集。その後、基本設計を行い、都市計画決定の手続きを進めます。着工は平成十七年度ごろで、二十一年度ごろの完成を目指します。



札幌駅前通地下歩行空間を考えるワークショップ